令和８年　10月７日

第318回薬事委員会報告

日　時　令和８年　10月　７日（水）15:00～15：30
場　所　中央棟４階会議室
出席者　川浪、藤田、今福、伊藤、菅原、戸川、池内、諸藤
欠席者　髙松、小松、兼重、栗山

議　事

Ⅰ．新規採用医薬品

	適否	製品名	削除医薬品
1	適	ビロイ点滴静注用100mg	アクプラ静注用100mg
2	適	ビロイ点滴静注用300mg	オキサリプラチン点滴静注液 50mg「ニプロ」
3	適	ビクタルビ配合錠	アイセントレス錠 400mg、ツルバダ配合錠
4	適	リネゾリド錠600mg「明治」	－
5	適	クレセンバカプセル100mg	－
6	適	アムベルビスト静注シリンジ5mL	ガドビスト静注1.0mol/Lシリンジ 5mL
7	適	アムベルビスト静注シリンジ7.5mL	ガドビスト静注1.0mol/Lシリンジ 7.5mL
8	適	アムベルビスト静注シリンジ10mL	ガドビスト静注1.0mol/Lシリンジ 10mL
9	適	ウステキヌマブBS皮下注90mgシリンジ「F」	マヴィレット配合錠
10	適	白色ワセリン「ケンエー」	プロペト

Ⅱ．後発医薬品（GE）への切替

	適否	AG/BS	製品名	削除医薬品
1	適	－	ラベプラゾールナトリウム錠10mg「ケミファ」	パリエット錠 10mg
2	適	－	ラコサミド錠50mg「サワイ」	ビムパット錠 50mg
3	適	－	ラコサミド錠100mg「サワイ」	ビムパット錠 100mg
4	適	－	フルオロメトロン点眼液0.1%「センジュ」	フルメトロン点眼液 0.1%
5	適	BS	トシリズマブBS点滴静注80mg・200mg「CT」	アクテムラ点滴静注用80mg・200mg

Ⅲ．試薬・製剤原料等
特になし

Ⅳ．新規院内特殊製剤
特になし

Ⅴ．臨時購入医薬品（院内専用　患者限定）
新規購入品目（令和８年７月４日～令和８年９月４日）

	製品名	申請科	申請理由
1	ケルロング錠5mg	救命救急センター	老作成狭心症
2	アグリリンカプセル0.5mg	形成外科	本態性血小板血症
3	コンファクトF静注用500単位	腫瘍・血液・感染症内科	von Willebrand病
4	バリキサドライシロップ5000mg	小児科	先天性サイトメガロウイルス感染症
5	オペプリム	腎泌尿器外科	副腎癌
6	クリースビータ皮下注10mgシリンジ	内分泌・糖尿病内科	FGF23関連低リン血症性骨軟化症
7	オザグレルNa点滴静注液80mg「トーワ」	脳神経内科	アテローム血栓性脳梗塞
8	リスティーゴ皮下注420mg	脳神経内科	重症筋無力症（MG）

※　臨時購入申請書の提出について
　臨時購入は、原則として臨時購入申請書の提出を確認した後に手続きを開始します。ただし、緊急時などやむを得ない場合は、申請書を後日提出とすることがあります。なお、後日提出となった場合は、速やかに申請書をご提出ください。提出が著しく遅れた場合は、提出遅延の理由書をご提出いただきます。

Ⅵ. 院外専用医薬品（令和８年９月４日時点）

アクイプタ錠10mg	アクイプタ錠30mg	アクイプタ錠60mg
クラシエ加味帰脾湯エキス細粒	ジャスケイド錠9mg	ジャスケイド錠18mg
タルグレチンカプセル75mg	ハイゼントラ20%皮下注10g/50mLシリンジ	ハイゼントラ20%皮下注4g/20mLシリンジ
リアルダ錠600mg	ロープレッサ点眼液0.02%	

Ⅶ. 販売名変更

	販売名変更となる採用薬	変更予定時期	切替採用薬
1	リマプロストアルファデクス錠5μg「サワイ」	2026年8月	リマプロスト　アルファデクス錠5μg「サワイ」

Ⅷ. 販売中止

〈販売中止とそれに伴う切替採用申請〉

	販売中止となる採用薬	販売中止予定時期	切替採用薬
1	ラゲブリオカプセル200mg	2027年12月	ラゲブリオ錠400mg
2	リスペリドン内用液1mg/mL「タカタ」	2027年3月	リスペリドン内用液分包「アメル」
3	クラフォラン注射用0.5g、1g	2026年12月	セフォタックス注射用0.5g、1g

Ⅸ. 供給遅延・供給停止等のお知らせ

〈供給遅延・供給停止等とそれに伴う切替採用申請〉

	供給遅延･供給停止となる採用薬	一般名	薬効	切替採用薬
1	オザグレルNa点滴静注80mg「タカタ」	オザグレルナトリウム	トロンボキサン合成酵素阻害剤	オザグレル Na 点滴静注液80mg「トーワ」
2	タンニン酸アルブミン「VTRS」原末	タンニン酸アルブミン	止しゃ剤	タンニン酸アルブミン「ニッコー」

Ⅹ. 副作用報告

2026年7月～8月の副作用報告件数は17件であり、そのうち非重篤なものは14件、重篤なものは3件（下記記載）であった。

副作用発現日	年齢	性別	被疑薬	症状	転帰	報告者	PMDA副作用報告
4/23	78	男	ボルタレンSRカプセル37.5mg	十二指腸潰瘍 多発性胃潰瘍	軽快	薬剤師	有
6/28	18	女	ペンタサ錠500mg	薬剤性心筋炎	軽快	薬剤師	有
8/1	32	女	リトドリン塩酸塩点滴静注液50mg「日医工」	Grede4のNeut低下、FN	軽快	薬剤師	有

Ⅺ. 同種同効薬：採用医薬品の適正化

該当なし

Ⅻ. その他

・ 使用量低頻度医薬品の院内削除について

※基本的には院外処方では継続して処方可能

※今後の薬事委員会において、各診療科から新規採用の申請があった際の削除対象品目として取り扱わせていただく予定

診療科	薬剤名	備考
腫瘍血液感染症内科	モゾビル皮下注24mg	臨時採用へ変更（センター在庫あり）
－	イダマイシン静注用5mg	臨時採用へ変更（センター在庫あり）
消化器内科	リンヴォック錠45mg	臨時採用へ変更（センター在庫あり）
感染制御部	タイガシル点滴静注用50mg	抗菌薬クラス分類において、臨時採用薬へ変更となる
感染制御部	シベクトロ点滴静注用200mg	

・　適応外・禁忌医薬品使用に係る申請（2026 年 7～8 月、計 37 件）

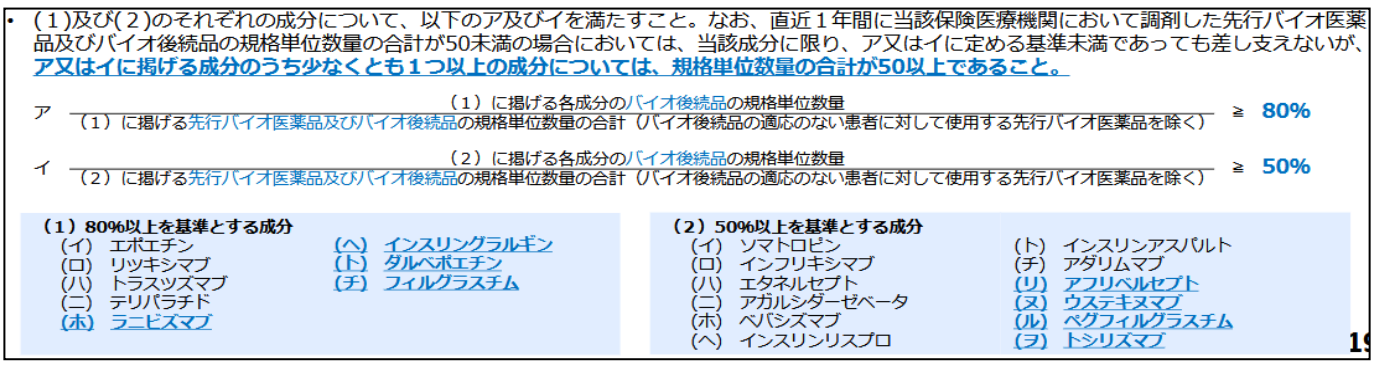
		申請科	薬品名	使用目的	倫理委員会審議の必要性
1～21	適応外	心臓血管外科	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 0.5g	縦隔炎予防のため閉胸時にペースト状にして塗布	なし（薬事委員会）
22～24	適応外	消化器外科	オクトレオチド酢酸塩皮下注 100μg	術後リンパ漏	なし（薬事委員会）
25～27	適応外	消化器外科	エホチール注 10mg	術後リンパ漏	なし（薬事委員会）
28	適応外	救命センター	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 0.5g	術後創部感染（セメント混入）	なし（薬事委員会）
29	適応外	救命センター	ヘパリンナトリウム注 5 千単位 ムコフィリン吸入液 20%	気道熱傷	なし（薬事委員会）
30	適応外	眼科	コルヒチン錠 0.5mg	ベーチェット病疑い （HLA A26 陽性）	なし（薬事委員会）
31	適応外	呼吸器内科	インフリキシマブ BS 点滴静注用 100mg「NK」	irAE 腸炎	なし（薬事委員会）
32	適応外	耳鼻咽喉科	オプソ内用液 5mg	ALS（呼吸苦に対して）	なし（薬事委員会）
33	適応外	消化器内科	オンボー点滴静注 300mg オンボー皮下注 100mg オートインジェクター	アダリムマブ BS による一次治療無効	なし（薬事委員会）
34	適応外	救命センター	リファンピシンカプセル 150mg	インプラント感染	なし（薬事委員会）
35	適応外	麻酔科	無水エタノール注「VTRS」	膵臓癌による難治性の上腹部痛 （内臓神経ブロックによる除痛）	なし（薬事委員会）
36	適応外	整形外科	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 0.5g	術後創部感染（セメント混入）	なし（薬事委員会）
37	適応外	整形外科	アムビゾーム点滴静注用 50mg	術後創部感染（セメント混入）	倫理委員会

・　薬事ニュース No. 120（資料 1）

・　地域支援・医薬品供給対応体制加算について
2026 年 6 月～後発医薬品使用体制加算は廃止、地域支援・医薬品供給対応体制加算へ変更となる。
加算 1：87 点（後発医薬品使用割合が 90%以上）
その他、供給不足時の対応体制や院内掲示等の算定要件有り

	6 月	7 月	8 月
全医薬品の規格単位数量　①	665, 451	712, 589	670, 890
後発医薬品あり先発医薬品及び後発医薬品の規格単位数量　②	238, 830	249, 299	244, 970
後発医薬品の規格単位数量　③	225, 510	234, 530	232, 445
後発医薬品の割合　③／②	94. 4%	94. 1%	94. 9%

・　バイオ後続品使用体制加算について



※バイオ医薬品の使用状況（2026 年 8 月実績分）（資料 2）

・ 院内廃棄薬について

2026 年 7 月と 8 月における院内廃棄薬の総金額は、296, 290 円であった。上位品目の内訳は以下の通り。

順位	品目	単価	廃棄数量	廃棄金額	採用区分	診療科	廃棄理由
1	タブレクタ錠200mg	6,573円/錠	30錠	197,205円	臨時採用	呼・乳・小	期限切れ
2	キロサイド注100mg	1,197円/管	62管	74,214円	正式採用	—	期限切れ
3	ラパリムス錠1mg	1,309円/錠	19錠	24,871円	臨時採用	呼・乳・小	期限切れ
合計			111	296,290円			すべて期限切れ

・ その他

・総採用品目数および後発品の割合

2026 年 10 月 1 日現在の総採用品目数は 2, 581 品目であり、うち後発医薬品は 478 品目（18. 5%）である。

・モビコール配合内用剤の限定出荷・出荷停止に伴う対応について

限定出荷・出荷停止に伴い、現在は小児患者への使用を目的として診療科（小児科・小児外科）を限定している。しかしながら、他診療科でも小児患者を診療することがあるため、診療科限定から患者限定へ運用を変更し、薬剤部でのマスタ登録時に必要性の可否を適宜判断する。成人への投与は、新規開始・継続使用を問わず、まずは代替薬への変更を検討する。本剤でなければ治療継続が困難等のやむを得ない場合は、薬剤部へ相談の上、使用の必要性を個別に検討する。

運用変更については院内掲示板にて周知予定。

・リンデロン注およびプレドニン注の限定出荷に伴う対応について

当該医薬品は、全国的な限定出荷により納品遅延が生じている。現状は通常使用量の約半量の納品にとどまっている。今後、使用制限を行わなければ在庫が枯渇するため、再度院内掲示板にて、必要最低限の使用や代替薬への変更を依頼する。具体的な使用制限については、現在検討中であり、方針決定後、改めて院内掲示板にて周知する。

次回薬事委員会は、令和 8 年 12 月 2 日（水）13 時より中央棟 4 階 会議室で行う。